

◆授業や課外活動では得られない職業観を ―インターンシップ―

長かった夏休みも終わり、秋学期がスタートしました。2年生にとっては最終セメスター、1年生にとっては就職活動に向けての準備がいよいよ始まるセメスターとなります。

本格的な就職活動に先がけて、夏休みを利用したインターンシップ(就業体験)を鶴雅グループ(観光業)と新得町レディースファームスクール(農業)で実施しました。本学では、実際の現場に触れることで自らのキャリアデザインを描く貴重な機会として、インターンシップを重要なキャリア教育プログラムと位置付けています。

◇鶴雅グループ(株式会社阿寒グランドホテル)でのインターンシップ

8月19日から8月28日まで10日間の日程で行われた鶴雅グループでのインターンシップには、キャリアデザイン学科1年生8人が参加しました。阿寒湖温泉で共同生活を送りながらチームワークを養い、鶴雅グループが企画した「観光人材養成講座」を受講し、グループ代表の大西社長をはじめ、北海道経済部観光局職員、ホテルスタッフなどから北海道の観光産業、接客マナーについて学びました。

実習では、レストランでのサービス、ロビーでのお客様のご案内、客室への荷物運びなどを体験し、実際に「鶴雅ならではのおもてなし」を教えてくださいました。実習の中で、着物の着付けや和室でのマナーを身に付け、茶道、生け花などの日本文化にも触れました。

また、阿寒湖温泉で毎年恒例の仮装盆踊り大会など地域のイベントにも参加し充実した就業体験となりました。



▲実習では着物を着てお客様をお迎えしました



▲「鶴雅観光人材養成講座」開講式の様子(写真上)、仮装盆踊り大会で「奨励賞」を受賞(写真下)

＝参加学生の感想＝

- ・おもてなしの心を大切にしている鶴雅の接客に触れ、相手を思いやる気持ちを忘れないようにしようと思いました。
- ・様々な体験をする中で、接客サービスの素晴らしさを改めて感じました。将来は観光サービスの仕事に就きたいです。
- ・初めての経験で緊張している私に、従業員の皆さんが親身に対応していただき感謝しています。
- ・着慣れない着物での実習に戸惑いましたが、背筋が伸びてきれいな姿勢を保つことができたのがうれしかったです。日本文化体験もたいへん勉強になりました。

井内 美希、石原 麻由子、佐藤 榛奈、田中 春菜、
中島 彩香、長谷川 美香、平川 玖留実、山内真由美

◇新得町レディースファームスクールでのインターンシップ

十勝の新得町で9月1日から9月7日まで7日間の日程で行われた農業インターンシップには、キャリアデザイン学科1年生6人が参加しました。

今年度から参加するこの農業インターンシップでは、町が運営する「レディースファームスクール」で共同生活を送りながら、受入農家である友夢牧場(酪農)、辻内牧場(酪農)、村田農場(畑作)において、2人ずつ3グループに分かれ早朝から夜になるまで農作業に挑戦しました。

酪農研修では、初めて牛に触り、搾乳、哺乳、ブラッシング、飼料調整、牛舎の清掃などの作業を体験したほか、牛の分娩にも立ち会いました。畑作研修では、畑の面積の大きさに驚きながらもじゃがいもやブロッコリーの収穫、ビート畑の除草作業などを体験しました。



▲仔牛への哺乳体験



◀新得町名物のそば打ちを体験

また、新得町内を視察し、そば打ちやチーズづくりにも挑戦し、自分たちで一から作ったまち特産のそばに舌鼓を打っていました。

7日間の研修でしたが、実際に農作業の一端を経験してみると、頭の中で想像していたものとは異なっていたようで、改めて農業の大切さやたいへんさを理解し、そこで働く人たちの考えや思いに共感を覚えてきているようでした。

＝参加学生の感想＝

- ・自分自身で農作業を経験し、手間をかけて作ってくださる農家の方のことを考えると、食事を残すことなんてできないと感じました。
- ・今まで絶対にできないと思っていたことが自分にもできると気づくことができ、大きな自信につながったと思います。
- ・研修先の皆さんに親切にいただいたことに感謝するとともに、人との出会いの大切さを実感できました。

菊地 夏美、栗本 優香、佐藤 未空、西山 史恵、三津橋 苑美、米林 結萌



なお、春休みにも航空業をはじめ、金融業、観光業、美容サービス業などでのインターンシップ実施を予定しています。